

I 平成28年度事業報告

1 会員の異動

平成29年3月31日現在の会員数は下表のとおりである。

府県別 会員別	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	近畿以外	合 計
個人会員	19(-2)	38(+1)	26(-2)	42(+1)	13(0)	39(+4)	21(-2)	198(0)
単 協	1(0)	6(0)	2(0)	4(0)	0(0)	1(0)	-(-)	14(0)
中央会	13(0)	5(0)	20(-1)	33(+2)	9(0)	12(+1)	-(-)	92(+2)
連合会	0(0)	17(+1)	1(0)	2(0)	3(0)	25(+3)	-(-)	48(+4)
府県庁	0(-1)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	-(-)	1(-1)
大学等	5(-1)	9(0)	3(-1)	3(-1)	1(0)	1(0)	21(-2)	43(-5)
団体会員	13(0)	8(0)	13(0)	13(0)	3(0)	10(0)	17(+1)	77(+1)
単 協	9(0)	4(0)	9(0)	9(0)	1(0)	6(0)	-(-)	38(0)
中・連合会	4(0)	4(0)	4(0)	4(0)	2(0)	4(0)	-(-)	22(0)
全国連	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	5(0)	5(0)
准会員	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	12(+1)	12(+1)
合 計	32(-2)	46(+1)	39(-2)	55(+1)	16(0)	49(+4)	38(-1)	275(+1)

注) () 内は、前年度末会員数との増減を示す。

2 平成28年度に開催した研究例会・研究大会

事業計画に基づき、研究例会2回および研究大会を開催した。

今年度の研究会は、年間統一テーマを「『創造的自己改革』の実践と課題」として、第27回JA全国大会決議、改正農協法等を踏まえつつ、JAの自己改革の取り組み方向と課題について研究・討議した。

研究例会の具体的なテーマとして、准組合員問題、農業生産の拡大・販売力強化について取り上げた。研究大会では、新たな段階に入った「農協改革」を踏まえ、自己改革をどう認識し、取り組みをどう強化すべきかについて議論を深めた。

(1) 研究例会

回数	開催月日 開催場所	研究会テーマおよび 座長とコメンテーター	報告テーマと報告者	出席 者数
第1回 例会 通算第 254回 研究会	平成28年 7月22日 (金) 奈良市 奈良県 農協会館	「JAは准組合員にどう向き合 うか」 (座長) 滋賀県立大学 環境科学部 教授 増田 佳昭 氏 (コメンテーター) 和歌山県 紀南農業協同組合 総合企画部 部長 西川 靖史 氏 京都大学大学院 農学研究科 准教授 辻村 英之 氏	基調報告 「JAは准組合員にどう向き合 うか」 滋賀県立大学 環境科学部 教授 増田 佳昭 氏 報告Ⅰ 「わがJAの准組合員対応と支店 協同活動の取組」 奈良県農業協同組合 総務部 組織広報課 課長 谷川 純一 氏 報告Ⅱ 「農協改革の論点と准組合員対応 の課題をこう考える」 龍谷大学 農学部 教授 石田 正昭 氏	103名
第2回 例会 通算第 255回 研究会	平成28年 9月28日 (水) 大津市 滋賀県農 業教育情 報センタ ー	「農業生産の拡大・販売力強化 をどう進めるかー『自己改革』 の方向と施策をめぐってー」 (座長) 京都大学大学院 農学研究科 准教授 伊庭 治彦 氏 (コメンテーター) 兵庫県 たじま農業協同組合 営農生産部 部長 山下 正明 氏 京都大学大学院 農学研究科 助教 北野 慎一 氏	報告Ⅰ 「農業生産の拡大・販売力強化の あり方をこう考える」 広島大学大学院 生物圏科学研究科 助教 小林 元 氏 報告Ⅱ 「わがJAの営農経済事業改革へ の取り組みと課題」 滋賀県 甲賀農業協同組合 経済部 部長 山中 茂男 氏	80名

(2) 研究大会

回数	開催月日 開催場所	研究会テーマおよび 座長とコメンテーター	報告テーマと報告者	出席 者数
28年度 大会 通算第 256回 研究会	平成29年 1月13日 (金) 京都市 京都テル サ	「『創造的自己改革』をどう 実践するか」 (座長) 滋賀県立大学名誉教授 小池 恒男 氏 (コメンテーター) 京都府 京都中央農業協同組合 代表理事専務 稲田 正文 氏 関西大学 経済学部 教授 榎原 正澄 氏	報告Ⅰ 「自己改革をどう進めるかー農 協『改革』の現段階を踏まえ てー」 横浜国立大学・大妻女子大学名 誉教授 田代 洋一 氏 報告Ⅱ 「JAぎふの自己改革に向けた 取組み」 岐阜県 ぎふ農業協同組合 常務理事 岩佐 哲司 氏	74名

【参 考】 平成28年度研究例会・研究大会出席者数の内訳

		総 数	近畿内・近畿外別		所属別		
			近畿内	近畿外	単 協	中央会 ・連合会	研究者等
第1回 例 会	実 数(人)	103	86	17	57	36	10
	構成比(%)	100.0	83.5	16.5	55.3	35.0	9.7
第2回 例 会	実 数(人)	80	71	9	29	40	11
	構成比(%)	100.0	88.8	11.2	36.3	50.0	13.7
大 会	実 数(人)	74	63	11	29	31	14
	構成比(%)	100.0	85.1	14.9	39.2	41.9	18.9
合 計	実 数(人)	257	220	37	115	107	35
	(1回当たり)	(86)	(73)	(13)	(38)	(36)	(12)
	構成比(%)	100.0	85.6	14.4	44.7	41.6	13.6

3 会報の発行等

(1) 会報の発行

本年度分の会報の発行は下表のとおりである。

会報番号	テーマ	発行年月	発行部数	備考
254	J Aは准組合員にどう向き合うか	平成28年10月	330	平成28年度 第1回研究例会記録
255	農業生産の拡大・販売力強化をどう進めるかー「自己改革」の方向と施策をめぐってー	平成28年12月	330	平成28年度 第2回研究例会記録
256	「創造的自己改革」をどう実践するか	平成29年3月	330	平成28年度研究大会記録

(2) ホームページの運営

平成26年度から運用しているオリジナルホームページを通じて、例会・大会の開催案内をはじめとする情報発信を行うとともに、各府県農協中央会の協力を得て、近畿地区の四季折々の風景をトップページに活用し、魅力あるページづくりを行った。その結果、年間アクセス件数は18,367件であった。

4 研究会運営記録

開催月日	会議名	会場	報告および協議事項
平成28年 5月10日(火)	第1回 事務局会議 出席：10名	滋賀県農業教 育情報センタ ー	①事務局の役割分担と主要業務について ②第1回運営委員会の出欠報告状況について ③代表者の互選、顧問の委嘱、監事の指名、事務局長等の指名について ④平成27年度事業報告(素案)について ⑤平成27年度収支決算報告(素案)について ⑥平成28年度事業計画(素案)について ⑦平成28年度予算計画(素案)・会費基準について ⑧第1回研究例会開催要領(素案)について ⑨ホームページのスライド画像の更新について
5月27日(金)	第1回 運営委員会 出席：22名 (うち、 委：7名 代：3名)	滋賀県農業教 育情報センタ ー	①運営委員の選出結果について ②代表者の互選について ③顧問の委嘱について ④監事の指名について ⑤事務局長等の指名について ⑥平成27年度事業報告の承認について ⑦平成26年度収支決算報告の承認について ⑧監事の意見について ⑨平成27年度事業計画の承認について ⑩平成27年度予算計画の承認について ⑪平成27年度会費基準の承認について ⑫第1回研究例会開催要領(案)について

開催月日	会議名	会場	報告および協議事項
6月30日(火)	—	—	第1回会費の納入期限 近畿府県中央会・連合会個人会員取りまとめ期限
7月11日(月)	第2回 事務局会議 出席：9名	滋賀県農業教 育情報センタ ー	①会員の異動について ②第1回研究例会の参加申込み状況について ③第1回研究例会の運営について ④ホームページのスライド画像の更新について ⑤第2回運営委員会の出欠報告状況について ⑥第2回研究例会開催要領（素案）について
7月22日(金)	第1回 研究例会	奈良県農協会 館	テーマ「JAは准組合員にどう向き合うか」
	第2回 運営委員会 出席：21名 〔うち、 委：6名 代：6名〕	奈良県農協会 館	①第1回研究例会の参集者数について ②会員の異動について ③第2回研究例会開催要領（案）について ④研究大会の日程について
7月29日(金)	—	—	第2回会費の納入期限 (近畿地区中央会・連合会個人会員)
9月21日(水)	第3回 事務局会議 出席：9名	滋賀県農業教 育情報センタ ー	①会員の異動について ②第2回研究例会の参加申し込み状況について ③第2回研究例会の運営について ④ホームページのスライド画像の更新について ⑤第3回運営委員会の出欠状況について ⑥研究大会の開催要領（素案）について
9月28日(水)	第2回 研究例会	滋賀県農業教 育情報センタ ー	テーマ「農業生産の拡大・販売力強化をどう進 めるかー『自己改革』の方向と施策を めぐってー」
	第3回 運営委員会 出席：21名 〔うち、 委：12名 代：4名〕	滋賀県農業教 育情報センタ ー	①第2回例会の参集者数について ②会員の異動について ③運営委員の変更について ④研究大会の開催要領（案）について
9月30日(金)	—	—	会費の納入督促(第1回)

開催月日	会議名	会場	報告および協議事項
12月8日(木)	第4回 事務局会議 出席：10名	滋賀県農業教 育情報センタ ー	①会員の異動について ②会費の納入状況について ③研究大会の参加申し込み状況について ④会報の発行状況について ⑤研究大会の運営について ⑥ホームページのスライド画像の更新について ⑦運営委員の出欠報告状況について ⑧会報内容のWEB上での一部公開について ⑨顧問・運営委員アンケートについて
平成29年 1月13日(金)	研究大会	京都テルサ	テーマ「『創造的自己改革』をどう実践するか」
	第4回 運営委員会 出席：21名 (うち、 委：10名 代：3名)	京都テルサ	①研究大会の参集者数について ②会員の異動について ③会費の納入状況について ④会報の発行状況について ⑤会報内容のWEB上での一部公開について ⑥今年度の研究会運営を振り返って
1月31日(火)	—	—	会費の納入督促(第2回)
3月13日(月)	第5回 事務局会議 出席：8名	滋賀県農業教 育情報センタ ー	①平成28年度事業報告(素案)について ②平成28年度決算報告(素案)について ③ホームページのスライド画像の更新について ④次年度の研究会運営に向けて
4月12日(水)	監事監査	J A全農京都 仮事務所	平成28年度事業報告(案)・収支決算報告(案)の監 査並びに帳簿等の監査
		J Aビル滋賀	

注1) 運営委員会の定足数は、定数22名の過半数である。

注2) 運営委員会の出席者数は、顧問・監事・事務局長を除いた運営委員のみの出席者数(委任状及び代理出席を含む)を示している。また、()内の「委」は委任状を、「代」は代理出席を表している。

Ⅱ 平成28年度決算報告

1 収支決算書

(自：平成28年4月1日 至：平成29年3月31日)

(1) 収入の部

(単位：円)

	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (A - B)	備考
会費	3,094,000	3,104,000	-10,000	
全国連会費	440,000	440,000	0	注1) 参照
府県連会費	1,100,000	1,100,000	0	注2) 参照
単協会費	652,000	652,000	0	注3) 参照
個人会費	792,000	792,000	0	注4) 参照
准会員会費	110,000	120,000	-10,000	注5) 参照
会報頒布収入	20,000	19,000	1,000	
資料代収入	500,000	618,000	-118,000	
雑収入	1,000	15	985	注6) 参照
前年度繰越金	460,101	460,101	0	
合計	4,075,101	4,201,116	-126,015	

注1) 110,000円×1団体、100,000円×1団体、90,000円×1団体、70,000円×2団体

注2) 50,000円×22団体(府県連12+府県本部10)

注3) 36,000円×1団体、25,000円×1団体、18,000円×5団体、15,000円×1団体、
12,000円×3団体、農業開発研修センター会費助成450,000円(27団体)

注4) 4,000円×198名

注5) 10,000円×12団体

注6) 貯金利息15円

(2) 支出の部

(単位：円)

	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (A-B)	備考
研究例会費	700,000	539,839	160,161	
会場費	160,000	26,800	133,200	会場借上料
交通費	250,000	261,960	-11,960	座長、報告者等の交通費等
通信費	40,000	40,139	-139	開催通知発送費
印刷費	180,000	150,768	29,232	開催通知、レジュメ等印刷費
雑費	70,000	60,172	9,828	参加者飲料代等
研究大会費	450,000	457,013	-7,013	
会場費	100,000	138,382	-38,382	会場借上料
交通費	200,000	191,420	8,580	座長、報告者等の交通費等
通信費	30,000	16,049	13,951	開催通知発送費
印刷費	80,000	71,820	8,180	開催通知、レジュメ等印刷費
雑費	40,000	39,342	658	参加者飲料代等
運営委員会費	70,000	48,930	21,070	
委員交通費	50,000	42,000	8,000	
会議費	20,000	6,930	13,070	会場借上料
会報費	1,010,000	850,855	159,145	
印刷費	600,000	457,855	142,145	
原稿整理費	180,000	180,000	0	60,000×3回
編集校正費	150,000	150,000	0	50,000×3回
執筆原稿費	80,000	63,000	17,000	
事務局費	1,670,000	1,585,484	84,516	
交通費	50,000	36,620	13,380	農業開発研修センター事務局員等の交通費
通信費	150,000	129,634	20,336	会報発送等の通信費、HP運営費
印刷費	80,000	73,386	6,614	事業報告・計画書等の印刷費
事務委託費	1,290,000	1,290,000	0	農業開発研修センターへの支払い事務委託費
会議費	50,000	22,000	28,000	事務局会議の会場代等
雑費	50,000	33,844	16,156	監査経費等
予備費	175,101	—	175,101	
合計	4,075,101	3,482,121	592,980	

(3) 次年度繰越金 (単位：円)

収入の部合計	4,201,116
支出の部合計	3,482,121
次年度繰越金	718,995

2 貸借対照表

平成29年3月31現在
(単位：円)

資 産		負 債 ・ 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	0	未 払 金 ^{注2)}	11,440
J A京都信連 普 通 預 金	210,976	前 受 金	0
J A滋賀信連 普 通 預 金	506,799	次年度繰越金	718,995
ゆうちょ銀行 振 替 口 座	4,660		
未 収 金 ^{注1)}	8,000		
合 計	730,435	合 計	730,435

注1) 未収金……………平成27年度個人会費 4,000円
平成28年度個人会費 4,000円

注2) 未払金……………事務局費 通信費 (メール便代他) 11,440円

監 事 の 意 見 書

平成28年度の事業報告ならびに収支決算報告書につき、平成29年4月12日に監査を行いました結果、事業運営は適切に行われ、収支決算についても、その内容は適正に処理されていることを認めます。

平成29年4月12日

監 事 平 井 英 雄 ㊟

監 事 山 田 保 ㊟

Ⅲ 平成29年度事業計画

1 基本方針

(1) 研究例会及び研究大会の開催

① 年間統一テーマ及び研究会テーマ

年間統一テーマは昨年度に引き続き「『創造的自己改革』の実践と課題」として、昨年11月の規制改革推進会議「農協改革に関する意見」や「農業競争力強化プログラム」等の「農協改革」をめぐる新しい情勢を踏まえつつ、「創造的自己改革」の着実な実践に資する研究会活動を展開する。

具体的には、2回開催する例会では、組合員との対話と農業者の所得増大の具体策について取り上げる。また研究大会では、「農協改革」の焦点になりつつある信用事業譲渡・代理店化を意識して、総合事業の必要性とその強みを活かしたJA運営のあり方について研究・討議する。

なお、研究会の具体的な持ち方については、開催府県の意向にも配慮しつつ、運営委員会での慎重審議により決定する。

② 研究例会の位置付けと開催回数

研究例会は、域内の実践者と研究者からの報告をもとに、会員相互の研究会として運営することを基本とし、今年度も年間2回の開催とする。

③ 研究大会の位置付け

研究大会は、会員内外に当研究会の活動を積極的にアピールする機会として位置付け、その充実に努める。

④ 研究例会・研究大会の運営

例会および大会の開催曜日・時間は参加者アンケート結果等をもとに、今年度も平日の午後1時から午後5時までとする。

また、活発な議論が行われるよう質問票の配布などの討論運営を行う。

(2) 会報の定期発行と内容の充実

① 会報の定期発行

事務局内に編集担当者を置き、会報の定期発行に努める。

② 会報内容の充実

「会員の声」「研究会に参加して」のコーナーを設け、会員参加による会報づくりに努めるとともに、会報の充実に努める。

(3) 組織の拡大と研究成果の普及

① 会員拡大

保管している会報の一部をPR誌として活用して、研究会活動の普及と併せて会員の拡大に積極的に努める。また、研究会開催案内やさまざまな機会を通じて、会員拡大に努める。

② 研究例会・研究大会開催案内等の充実

研究例会・研究大会の開催案内をスムーズに行う。特に、広域合併JAとの連携を密にして、基幹支所等にも開催案内を配布する等、研究会の参加促進を図る。

なお、個人会員に開催案内(所定の葉書)を届ける。

③ 会報頒布
研究例会・研究大会の研究成果を広く普及するために、会報の頒布に努力する。

④ 会員管理
2年を越えて会費未納となっている会員に対しては、会報の送付を停止するとともに、加入意思の確認を行い、会員管理を徹底する。

(4) 会員の意向把握と事務局会議の機能強化

① アンケート調査
研究例会・研究大会の出席者に対するアンケート調査を実施し、出席者の研究会への意向把握を行い、企画・運営に反映させることに努める。

② ホームページによる情報発信
オリジナルホームページを通じて、引き続き例会・大会の開催案内をはじめ研究会活動の情報発信を行う。

③ 事務局会議の拡充と機能強化
事務局会議の定期開催に努め、事務局会議の機能強化と業務の円滑化を図る。
本年度も引き続き、各府県中央会および一般社団法人農業開発研修センターの協力を求める。

2 実施計画

(1) 研究例会の開催

☆年間統一テーマ「『創造的自己改革』の実践と課題」

回次	開催月日	テーマ(仮題)	会場
第1回研究例会 (通算257回)	平成29年 7月25日(火)	こう進める 「組合員との徹底した話し合い」による自己改革	神戸市
第2回研究例会 (通算258回)	平成29年 10月26日(木)	こう進める 農業者の所得増大	和歌山市

注) 第1回研究例会のテーマは第1回運営委員会において、第2回研究例会のテーマは第2回運営委員会において、決定する。

(2) 研究大会の開催

開催月日	会場	テーマ(仮題)	備考
平成30年 2月2日(金)	大阪市	「創造的自己改革」でどう描く 総合JAの未来像	通算259回研究会

注) 研究大会のテーマは第3回運営委員会において、決定する。

(3) 会報の発行予定

会報No.	発行予定年月	発行予定部数	備考
257	平成29年 10月下旬	330部	平成29年度第1回研究例会記録
258	平成30年 1月下旬	330部	平成29年度第2回研究例会記録
259	平成30年 5月上旬	330部	平成29年度研究大会記録

IV 平成29年度予算計画

1 収入の部

(単位：円)

	予 算 額	摘 要	前年度予算額
会 費	3,104,000		3,094,000
全国連会費	440,000	注1)参照	440,000
府県連会費	1,100,000	注2)参照	1,100,000
単協会費	652,000	注3)参照	652,000
個人会費	792,000	注4)参照	792,000
准会員会費	120,000	注5)参照	110,000
会報頒布収入	20,000		20,000
資料代収入	500,000	注6)参照	500,000
雑 収 入	1,000	貯金利息等	1,000
前年度繰越	718,995		460,101
合 計	4,343,995		4,075,101

注1) 110,000円×1団体、100,000円×1団体、90,000円×1団体、70,000円×2団体

注2) 50,000円×22団体(府県連12+府県本部10)

注3) 36,000円×1団体、25,000円×1団体、18,000円×5団体、15,000円×1団体、
12,000円×3団体、農業開発研修センター会費助成450,000

注4) 4,000円×198名

注5) 10,000円×12団体

注6) 資料代単価は、個人会員2,000円、団体会員3,000円、非会員5,000円

2 支出の部

(単位：円)

	予 算 額	摘 要	前年度予算額
研究例会費	700,000		700,000
会場費	160,000	2回分の会場借上料	160,000
交通費	250,000	座長、報告者等の交通費等	250,000
通信費	40,000	開催通知発送費	40,000
印刷費	180,000	開催通知、レジユメ等の印刷費	180,000
雑費	70,000	参加者飲料代等	70,000
研究大会費	450,000		450,000
会場費	100,000	会場借上料	100,000
交通費	200,000	座長、報告者等の交通費等	200,000
通信費	30,000	開催通知発送費	30,000
印刷費	80,000	開催通知、レジユメ等の印刷費	80,000
雑費	40,000	参加者飲料代等	40,000
運営委員会費	70,000		70,000
委員交通費	50,000		50,000
会議費	20,000	会場借上料	20,000
会報費	1,010,000		1,010,000
印刷費	600,000	200,000×3回	600,000
原稿整理費	180,000	60,000×3回	180,000
編集校正費	150,000	50,000×3回	150,000
執筆原稿費	80,000		80,000
事務局費	1,720,000		1,670,000
交通費	100,000	農業開発研修センター事務局員等の交通費	50,000
通信費	150,000	会報発送等の通信費、HP運営費	150,000
印刷費	80,000	事業報告・計画書等の印刷費	80,000
事務委託費	1,290,000	農業開発研修センターへの支払事務委託費	1,290,000
会議費	50,000	事務局会議の会場代等	50,000
雑費	50,000		50,000
予備費	393,995		175,101
合 計	4,343,995		4,075,101

V 平成29年度会費基準の設定について

平成29年度会費を以下のとおり設定する。

(1) 個人会員	4,000円
(2) 単協会員		
正組合員戸数 3,000戸未満	12,000円
3,000～5,000戸未満	15,000円
5,000～10,000戸未満	18,000円
10,000～30,000戸未満	25,000円
30,000～50,000戸未満	36,000円
50,000戸以上	72,000円
注1) 正組合員戸数は、「平成29年版 都道府県農業協同組合名鑑」(日本農業新聞、平成29年1月)記載の戸数(平成28年11月1日現在)に基づく。		
注2) 一般社団法人農業開発研修センター(以下、センターという。)と近畿農協研究会の会員となっている近畿6府県内JAについては、センターから当研究会への助成により、近畿農協研究会から会費を請求しない。		
(3) 府県団体会員	50,000円
(4) 全国団体会員	別 途
(5) 准会員	10,000円